



介護あんしん 相談員だより

第36号 平成30年9月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見えたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(平成30年6月・7月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：J氏は利用開始の頃に比べると、表情が明るく笑顔で話されるようになりましたね。良い介護をされているのでしょうか。

施設：最近はとても穏やかで別人のようになられました。体操やレクレーションにも意欲的に参加されています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



息子さんと2人暮らしをされている方で、施設の利用当初は息子さんも介護の仕方が分からず、衣類や食事など十分ではなかったそうですが、デイサービスを利用されるようになり、息子さんにも介護方法を徐々に覚えていただくことで、在宅生活をスムーズに送ることができるようになったとのことでした。

介護の専門家である施設のスタッフからご家族へ、在宅での介護方法や食事の仕方等を伝えることが出来る関係は、素晴らしい関係だと思います。

また、息子さんにゆとりが出来て笑顔の時間が増えることで、J氏も笑顔が出ているのではないのでしょうか。

最近では同じような、高齢の親と単身の息子さん・娘さんの世帯が増えてきたと聞きます。そのような状況では、息子さん・娘さんもどうしても良いのか分からないという事が多くあると思います。他の施設でも優しく相談に乗っていただいていることと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

相談員：おやつ時に片手で食べにくそうにされている利用者様へ、器の下に滑り止めを敷く等の対応を自然にされていて感心しました。
施設：その方に合わせた対応で穏やかにすごしていただけると嬉しく思います。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



利用者様は左手が動かしにくい方ですが、滑り止めを器の下に敷くことで自分で食べることが出来るそうです。

自分で食事を摂れることはとても大切なことですね。自分で食べたいものを食べたい順番で、時間がかかっても美味しく食べられることは、利用者様の自信にもつながるのではないのでしょうか。

滑り止めや、指先が動きにくくても使える持ちやすい箸、シリコンゴムで出来た口元に優しいスプーン・フォーク等の自助具のほかにも、握力の弱い方でも使いやすい歯ブラシや、少しの力で楽に爪が切れる爪切り、ボタン掛けや靴下を履きやすくする自助具もあるようです。自助具の中には高価なものもありますが、何かを工夫することで代用出来ることもあるかもしれません。

他の施設でも対応されているかと思いますが、利用者様を良く見て、個別にその方に合わせた対応をしていただけたということ、とても素晴らしいことですね。

ありがとうございます。



～利用者様の声より～

相談員：「役員をしている。」と利用者様が話されていました。

施設：総務委員をされています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



この施設では利用者様に何かしらの役割を担ってもらっているそうです。

こちらの利用者様は総務委員なので、広報を各居室へ配布することや、誕生日会の準備・葬儀の参列などの役割をいただいているそうです。また、月に1回総務会を開催しており、入居者を代表して意見を述べてもらい協議を行っているそうです。

このように、利用者様にはまだまだ出来る事がたくさんあるのではないのでしょうか。

施設に入所される前は、区長さんや民生委員さん、老人クラブ、サークルなどで活躍されていた方もいらっしゃると思います。

男性の利用者様の得意なこと、女性の利用者様の得意なことで、出来る範囲の役割を持ってもらうことは利用者様の生活に張り合いが出来るのではないかと感じました。

今後ともよろしくお願いいたします。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。ご利用ください。